



	2	(音のスケッチ)	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、ハ長調の主要三和音に親しむ。	和音に合わせてせんりつをつくらう	☆和音に合わせてせんりつをつくらう		
6	6	2 アンサンブルのみりよく(合唱)	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや音楽の縦と横との	合唱のひびきをきき比べよう	◎いろいろな合唱 花	○ ○	
7	7	毎時 〔めざせ 楽器名人〕	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音に合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、リコーダーアンサンブルに親しむ。	かけ合いや重なりを生かして演奏しよう	星笛		○
9	3	3 アンサンブルのみりよく(オーケストラ)	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、オーケストラの音楽に親しむ。	オーケストラのひびきを楽しまう	◎組曲「カレリア」から「行進曲風」に		

	1	〈こっぼんのうた みんなのうた〉	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との 関わり、曲想と歌詞の内容との関わり について理解するとともに、思い や意図に合った表現をするために 必要な、呼吸及び発音に気を付け て、自然で無理のない、響きのある 歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、強弱などを聴き取り、その 働きが生み出すよさを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、曲の特徴 にふさわしい表現を工夫し、どのよ うに歌うかについて思いや意図をも つ。 (3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生か して表現することに興味をもち、音 楽活動を楽しみながら、主体的・協 働的に学習活動に取り組み、日本 の歌曲に親しむ。		赤とんぼ	○	○
	2	4 パートの役わり	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関 わりや、曲想と歌詞の内容との関わり について理解するとともに、思い や意図に合った表現をするために 必要な、各声部の楽器の音や全体 の響き、伴奏を聴いて、音を合わせ て演奏する技能を身に付ける。 (2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横と の関係などを聴き取り、それらのよ さなどを感じ取りながら、聴き取った ことと感じ取ったこととの関わりにつ いて考え、曲の特徴にふさわしい表 現を工夫し、どのように演奏するか について思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴にふさわしい表現をす ることに興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組み、フォルクローレの 音楽に親しむ。	パートの役わり や曲の特ちょうを 生かして演そうし よう	風とケーナのロマンス	○	○
10	4	5 日本の音楽	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の 構造との関わりについて理解すると ともに、思いや意図に合った表現を するために必要な、呼吸及び発音 に気を付けて歌う技能を身に付け る。 (2) 旋律や音色、音の重なり、拍な どを聴き取り、それらの働きを生 かして歌おう	わたしたちの国 に伝わる歌や声 の表現を楽しもう	◆子もり歌 ◎会津磐梯山／音戸の 舟歌	○	○
11	4	6 豊かな表現	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構 造との関わりや、曲想と歌詞の内容 との関わりについて理解するとと もに、思いや意図に合った表現を するために必要な、呼吸及び発声 の仕方に気を付けて、自然で無理 のない、響きのある歌い方で歌う 技能を身に付ける。 (2) 音色、音の重なり、強弱などを 聴き取り、その面白さを感じ取り ながら、聴き取ったことと感じ取 ったこととの関わりについて考え、 即興的な表現を通して音楽づくり の様々な発想を得たり、どのよ うに全体のまとまりを意識した音 楽をつくるかについて思いや意図 をもつたりする。 (3) 詩をもとにしていろいろな声 で表現することに興味をもち、音 楽活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組み、音 楽に対する感性を育む。	せんりつの特 ちょうや音の重 なりを生かして歌 おう 拍の流れにのっ て表情豊かに歌 おう	地球の向こう側の君へ ◆冬げしき	○	○
12	2	〈音のスケッチ〉	(1) 多様な声の響きやそれらの組合 せの特徴について、それらの生み 出すよさや面白さと関わらせて理解 するとともに、発想を生かした表現 をするために必要な、設定した条件 に基づいて、即興的に声を選択し たり組み合わせたりして表現する技 能を身に付ける。 (2) 音色、音の重なり、強弱などを 聴き取り、その面白さを感じ取り ながら、聴き取ったことと感じ取 ったこととの関わりについて考え、 即興的な表現を通して音楽づくり の様々な発想を得たり、どのよ うに全体のまとまりを意識した音 楽をつくるかについて思いや意図 をもつたりする。 (3) 詩をもとにしていろいろな声 で表現することに興味をもち、音 楽活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組み、音 楽に対する感性を育む。	いろいろな声で 音楽をつくろう	☆いろいろな声で音楽を つくろう		



学習指導要領の内容との関連(例)

A 表現							B 鑑賞	
器楽				音楽づくり			鑑賞(1)	
ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ
○								
○								
	○	○	○					
○								
	○	○	○					
		○						
○	○	○	○					



○								
○	○	○	○					
○							○	○
○	○	○		○	○	○		
○								
○								
				○	○	○		





教育出版 2024年2月

[共通事項] (1)に関する事項		教育基本法との対照／他教科等との関連
ア	イ	
(旋律／音色)		創造性を培う／公共の精神
(旋律／音色／強弱／音の重なり)	(旋律／音色／強弱／音の重なり)	創造性を培う／公共の精神
(旋律／リズム)		伝統と文化の尊重
音の重なり／音階／調／和音のひびき	音の重なり／音階／調／和音のひびき へ音記号／くり返し記号・番かっこ・2番かっこ／ハ長調の主な和音／ハ長調の音階	創造性を培う

<p>旋律／和音のひびき／反復／変化</p>	<p>旋律／和音のひびき／反復／変化</p>	
<p>音色／音の重なり／縦と横との関係／強弱</p>	<p>音色／音の重なり／縦と横との関係／強弱</p>	<p>創造性を培う／幅広い知識と教養</p>
<p>(拍／フレーズ／縦と横との関係)</p>	<p>拍／フレーズ／縦と横との関係 8分の6拍子／スラー／(全体ふく発展)</p>	<p>創造性を培う</p>
<p>音色／音の重なり／旋律／反復／変化</p>	<p>音色／音の重なり／旋律／反復／変化</p>	

(旋律／強弱)		伝統と文化の尊重
縦と横との関係 ／フレーズ／拍	縦と横との関係 ／フレーズ／拍	創造性を培う
旋律／音色／拍	旋律／音色／拍 フラット	伝統と文化の尊重 ／他国の尊重
旋律／音の重なり ／強弱／拍／リズム	旋律／音の重なり ／強弱／拍／リズム	創造性を培う
音色／音の重なり ／強弱	音色／音の重なり ／強弱	創造性を培う／ 国語科との関連

(旋律／音色／音の重なり／強弱)		伝統と文化の尊重
旋律／反復／変化／呼びかけとこたえ／速度	旋律／反復／変化／呼びかけとこたえ／速度	創造性を培う／幅広い知識と教養
(今まで学んだものを生かす)		創造性を培う／公共の精神
縦と横との関係／リズム	縦と横との関係／リズム	創造性を培う／幅広い知識と教養
(旋律／音色／縦と横の関係／強弱／速度)		創造性を培う／幅広い知識と教養
(音色／旋律)		創造性を培う／幅広い知識と教養
		創造性を培う／公共の精神／外国語との関連
		公共の精神
		伝統と文化の尊重